

## 令和2年度 中学生チャレンジテスト（1・2年生） 出題範囲にかかる参考資料

大阪府教育委員会

令和2年度 中学生チャレンジテストの出題範囲は、「令和2年度 中学生チャレンジテスト（1・2年生）実施要領」に示しています。

本資料は、実施要領に示された出題範囲と指導内容を照らし合わせる際に、参考として活用いただけるよう、作成したものです。

## ◆中学校第1学年

## 【国語】（領域等別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的言語文化と国語の特質に関する事項
(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 <b>アイウエオ</b> (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 <b>アイ</b>	(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 <b>アイウエオ</b> (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 <b>アイウ</b>	(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 <b>アイウエオカ</b> (2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 <b>アイウ</b>	(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。 <b>ア (ア) (イ)</b> <b>イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)</b> <b>ウ (ア) (イ)</b> (2) 書写に関する次の事項について指導する。 <b>アイ</b>

## 《取り扱う題材》

- 文学的な文章、説明的な文章
- 児童・生徒の作文、発表原稿などの成果物、様々な非連続テキスト、書写（楷書）
- 古典、その他複数の題材を関連付けたもの

## 【数学】(領域別出題範囲)

以下は、学習指導要領解説及び国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」記載の内容項目

A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料の活用
(1)アイウエ 【正の数と負の数】 ・必要性と意味 ・四則計算とその意味 ・表現、処理 ・素数の積*		(1)アイウエ 【比例と反比例】 ・関数関係の意味 ・比例、反比例の関係 ・座標の意味 ・比例、反比例の特徴	
(2)アイウエ 【文字を用いた式】 ・必要性と意味 ・式の計算 ・表現、読み取り	—		—
(3)アイウ 【一元一次方程式】 ・必要性と意味 ・解の意味 ・等式の性質 ・方程式を解く ・方程式の活用			

\* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により「A 数と式」(1)アイウエの範囲に「素数の積」を加える。

### 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名		ページ
東京書籍	1章 正負の数	3章 方程式	P. 8～P. 133
	2章 文字と式	4章 比例と反比例	
移行用補助教材*	整数の性質		P. 2～P. 5
学校図書	1章 正の数・負の数	3章 1次方程式	P. 12～P. 148
	2章 文字式	4章 比例と反比例	
移行用補助教材*	素因数分解		P. 2～P. 5
教育出版	1章 正の数、負の数	3章 方程式	P. 9～P. 150
	2章 文字と式	4章 比例と反比例	
移行用補助教材*	素因数分解		P. 2～P. 4
啓林館	1章 正の数・負の数	3章 方程式	P. 12～P. 127
	2章 文字の式	4章 変化と対応	
移行用補助教材*	素数の積で表すこと		P. 2～P. 3
数研出版	第1章 正の数と負の数	第3章 1次方程式	P. 12～P. 132
	第2章 文字と式	第4章 比例と反比例	
移行用補助教材*	素因数分解		P. 2～P. 3
日本文教出版	1章 正の数と負の数	3章 方程式	P. 10～P. 149
	2章 文字と式	4章 比例と反比例	
移行用補助教材*	素因数分解		P. 2～P. 3

\* 学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、教科書発行者より配布される補助教材の当該ページを出題範囲に含む。

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

## 【英語】(領域別出題範囲)

以下は、学習指導要領記載の内容項目

(1)ア 聴くこと	(1)イ 話すこと	(1)ウ 読むこと	(1)エ 書くこと
(7) (4) (6) (1) (2)	-	(7) (4) (6) (1) (2)	(7) (4) (6) (1) (2)

### 《取り扱う言語材料について》

○単文

○肯定及び否定の平叙文（現在形）

○疑問文のうち、動詞（現在形）で始まるもの、助動詞（do, does）で始まるもの及び疑問詞（what, who）で始まるもの

\*ただし、How about you? の表現を含む

○名詞の単数形及び複数形

○文構造

- [主語+動詞]
- [主語+動詞+補語] のうち、主語+be 動詞+  $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \\ \text{形容詞} \end{array} \right\}$
- [主語+動詞+目的語] のうち、主語+動詞+  $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \end{array} \right\}$

○代名詞

- 人称、指示、疑問を表すもの

○動詞の時制など

- 現在形

○音声に関するもの

### 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Hi, English! Unit 0~7 Daily Scene 3	P. 4~P. 83
開隆堂	Let's Start PROGRAM 1~7 英語のしくみ ②	P. 6~P. 77
学校図書	Pre-lesson Let's Start Lesson 1~6 Talking Time	P. 4~P. 79
三省堂	Get Ready Lesson 1~6 Project ②	P. 6~P. 83
教育出版	Springboard Lesson 1~6 Part 2	P. 2~P. 77

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

## ◆中学校第2学年

### 【国語】(領域等別出題範囲)

以下は、学習指導要領記載の内容項目

A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
<p>(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 <b>アイウエオ</b></p> <p>(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 <b>アイ</b></p>	<p>(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 <b>アイウエオ</b></p> <p>(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 <b>アイウ</b></p>	<p>(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。 <b>アイウエオ</b></p> <p>(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。 <b>アイウ</b></p>	<p>(1) 「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。 <b>ア (7) (イ) イ (7) (イ) (ウ) (エ) (オ) ウ (7) (イ)</b></p> <p>(2) 書写に関する次の事項について指導する。 <b>アイ</b></p>

### 《取り扱う題材》

○文学的な文章、説明的な文章

○児童・生徒の作文、発表原稿などの成果物、様々な非連続テキスト、書写（行書）

○古典、その他複数の題材を関連付けたもの

## 【社会】(分野別出題範囲)

※各学校は、自校の学習進度等に応じて、下記の2種類（「A問題」「B問題」）から選択する。

## ◆ A 問題

以下は、学習指導要領記載の内容項目

地理的分野	歴史的分野
<p>(2) 日本の様々な地域</p> <p>イ 世界と比べた日本の地域的特色 (イ) (ア) (ウ) (ツ) 自然環境を除く)</p> <p>ウ 日本の諸地域（九州、中国・四国、近畿）</p>	<p>(4) 近世の日本</p> <p>ア* イウエ</p>

\* 歴史的分野「(4) 近世の日本 ア のうち『ヨーロッパ人来航の背景』の部分」については、学習指導要領の改訂に伴う移行措置の内容を加える。

## 《出題範囲を取り扱うページ》

## <地理的分野>

発行者	地理的分野	ページ
東京書籍	第2章 世界から見た日本の姿	P. 156～P. 214
	第3章 日本の諸地域	
教育出版	第2章 世界からみた日本のすがた	P. 150～P. 199
	第3章 日本の諸地域	
帝国書院	第2章 世界と比べた日本の地域的特色	P. 150～P. 209
	第3章 日本の諸地域	
日本文教出版	第2章 世界からみた日本の姿	P. 150～P. 205
	第3章 日本の諸地域	

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

### 〈特約〉

発行者	目次	ページ
東京書籍	統計	P.156～P.165
帝国書院	統計資料	P.156～P.164

※ <地図>については、該当ページのうち、<地理的分野>の教科書の出題範囲に関連する内容とする。

出題にあたって提示する表や図・グラフなどにおいて、上記内容を活用する場合がある。

### 〈歷史的分野〉

歴史的分野		ページ
発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	第4章 近世の日本	P. 97～P. 131 P. 134～P. 140
教育出版	第4章 近世の日本と世界	P. 87～P. 130
帝国書院	第4部 武家政権の展開と世界の動き	P. 86～P. 137
日本文教出版	第4編 近世の日本	P. 96～P. 145
育鵬社	第3章 近世の日本	P. 97～P. 135 P. 140～P. 150

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

## ◇B 問題

以下は、学習要領解説記載の内容項目

地理的分野	歴史的分野
(2) 日本の様々な地域 ア 日本の地域構成* イ 世界と比べた日本の地域的特色 (7) (4) (9) (1) ウ 日本の諸地域（九州、中国・四国、近畿）	(4) 近世の日本 ウエ

\* 地理的分野「(2) 日本の様々な地域 ア 日本の地域構成」については、学習指導要領の改訂に伴う移行措置の内容を加える。

### 《出題範囲を取り扱うページ》

#### <地理的分野>

発行者	地理的分野	ページ
東京書籍	第1章 日本の姿	P. 127～P. 214
	第2章 世界から見た日本の姿	
	第3章 日本の諸地域	
教育出版	第1章 日本の地域構成	P. 125～P. 199
	第2章 世界からみた日本のすがた	
	第3章 日本の諸地域	
帝国書院	第1章 日本の姿	P. 119～P. 209
	第2章 世界と比べた日本の地域的特色	
	第3章 日本の諸地域	
日本文教出版	第1章 日本の姿	P. 113～P. 205
	第2章 世界からみた日本の姿	
	第3章 日本の諸地域	

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

#### <地図>

発行者	目次	ページ
東京書籍	統計	P.156～P.165
帝国書院	統計資料	P.156～P.164

※ <地図>については、該当ページのうち、<地理的分野>の教科書の出題範囲に関連する内容とする。

出題にあたって提示する表や図・グラフなどにおいて、上記内容を活用する場合がある。

#### <歴史的分野>

発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	第4章 近世の日本	P. 120～P. 131 P. 134～P. 140
教育出版	第4章 近世の日本と世界	P. 114～P. 130
帝国書院	第4部 武家政権の展開と世界の動き	P. 118～P. 137
日本文教出版	第4編 近世の日本	P. 128～P. 145
育鵬社	第3章 近世の日本	P. 124～P. 135 P. 140～P. 150

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

## 【数学】(領域別出題範囲)

以下は、学習指導要領解説及び国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」記載の内容項目

A 数と式	B 図形	C 関数	D 資料の活用
<b>(1)アイウ</b> <b>【文字を用いた式】</b> ・整式の加法、減法 ・単項式の乗法、除法 ・表現、説明 ・式の変形  <b>(2)アイウ</b> <b>【連立二元一次方程式】</b> ・必要性と意味 ・解の意味 ・方程式を解く ・方程式の活用	<b>(1)アイ</b> <b>【平行線の性質】</b> ・平行線や角の性質 ・多角形の角の性質	<b>(1)アイウエ</b> <b>【一次関数】</b> ・一次関数の関係 ・一次関数の特徴 ・二元一次方程式 ・事象を捉え説明する	-

### 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名		ページ
東京書籍	1章 式の計算	3章 1次関数	P. 8～P. 106
	2章 連立方程式	4章 平行と合同	
学校図書	1章 式の計算	3章 1次関数	P. 12～P. 119
	2章 連立方程式	4章 図形の性質の調べ方	
教育出版	1章 式の計算	3章 1次関数	P. 9～P. 119
	2章 連立方程式	4章 平行と合同	
啓林館	1章 式の計算	3章 一次関数	P. 12～P. 102
	2章 連立方程式	4章 図形の調べ方	
数研出版	第1章 式の計算	第3章 1次関数	P. 14～P. 109
	第2章 連立方程式	第4章 図形の性質と合同	
日本文教出版	1章 式の計算	3章 1次関数	P. 10～P. 114
	2章 連立方程式	4章 図形の性質と合同	

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

**【理科】(分野別出題範囲)**

※A・Bの選択問題なし

以下は、学習指導要領記載の内容項目

第1分野		第2分野	
物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域
—	(4) 化学変化と原子・分子 ア 物質の成り立ち イ 化学変化 ウ 化学変化と物質の質量	(3) 動物の生活と生物の変遷 ア 生物と細胞 イ 動物の体のつくりと働き ウ 動物の仲間 *	—

\* 第2分野「(3) 工 生物の変遷と進化」については、学習指導要領の改訂に伴う移行措置により、出題範囲から除く。

**《出題範囲を取り扱うページ》**

発行者	単元名	ページ
東京書籍	単元1 化学変化と原子・分子	P. 10～P. 83
	単元2 動物の生活と生物の変遷	P. 84～P. 132 P. 144～P. 153
大日本図書	単元1 化学変化と原子・分子	P. 7～P. 80
	単元2 動物の生活と生物の進化	P. 81～P. 141 P. 152～P. 158
学校図書	A-3 化学変化と原子・分子	P. 5～P. 64
	B-3 動物の世界	P. 141～P. 200 P. 207 P. 210～P. 216
啓林館	生命 動物の生活と生物の進化	P. 2～P. 51 P. 60～P. 63
	物質 化学変化と原子・分子	P. 118～P. 181

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

## 【英語】(領域別出題範囲)

以下は、学習指導要領記載の内容項目

(1)ア 聴くこと	(1)イ 話すこと	(1)ウ 読むこと	(1)エ 書くこと
(7) (4) (6) (1) (2)	—	(7) (4) (6) (1) (2)	(7) (4) (6) (1) (2)

### 《取り扱う言語材料について》

- 単文、重文及び複文
- 肯定及び否定の平叙文
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞 (can, do など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose) で始まるもの
- 文構造

- [主語+動詞]
- [主語+動詞+補語] のうち、主語+be 動詞+ {  
名詞  
代名詞  
形容詞}
- [主語+動詞+目的語] のうち、主語+動詞+ {  
名詞  
代名詞  
to 不定詞}

- 代名詞

- 人称、指示、疑問、数量を表すもの

- 動詞の時制など

- 現在形、過去形、現在進行形、過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現

- to 不定詞

- have to, don't have to

- 音声に関するもの

### 《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Unit 0~5	P. 4~P. 77
開隆堂	Classroom English PROGRAM 1~6 英語のしくみ ③	P. 6~P. 61
学校図書	Pre-lesson Lesson 1~5	P. 6~P. 75
三省堂	Lesson 1~6 Review	P. 6~P. 79
教育出版	Lesson 1~6 Part 2	P. 4~P. 69

※ 上記以外のページにある資料等 (年表、演習、コラムなど) で、上記出題範囲の内容であるものも含む。